

<聖マリアナ医科大学病院、西部病院、東横病院を受診された患者さんへ>

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自分あるいは御家族の診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、2024 年 12 月 31 日までに後述の問い合わせ先までご連絡下さい。解析対象より除外いたします。なお、お申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は聖マリアナ医科大学生命倫理委員会（臨床試験部会）にて審議され学長の許可を得て実施しております。

研究課題名：腹部単純 X 線写真におけるイレウス・腸閉塞の AI モデル生成

① 研究の目的

イレウス・腸閉塞では、診断のために画像検査（単純 X 線写真や CT 検査、消化管造影検査など）が不可欠です。単純 X 線写真は CT 検査よりも被爆が少なく、時間もかからない検査になります。しかし、現時点では CT 検査よりも診断能が劣るのが問題点となっています。人工知能（AI）の画像解析技術は近年飛躍的に進歩しており、これにより診断精度が向上する可能性があると考えられます。今回は AI の導入により、腹部単純 X 線写真でのイレウス・腸閉塞の診断能が向上するかを検討します。

② 研究対象について

2014 年 2 月 10 日～2024 年 2 月 09 日の間に当院で腹部 CT が撮影され、その前後 24 時間以内に腹部単純 X 線写真も撮影された方が対象となります。

③ 研究実施期間

承認後～2029 年 6 月 30 日

④ 抽出項目

腹部単純 X 線写真や腹部 CT、電子カルテから性別、年齢、既往歴、治療経過、手術所見、血液検査（CRP、白血球数、乳酸、動脈血 pH、腫瘍マーカー）、画像検査（腹部単純 X 線写真、造影および非造影胸腹部 CT）

⑤ 個人情報等の保護について

この研究では個人を特定できるような情報は登録されません。

この研究に関わって取得される資料・情報等は、放射線科の医局内のパソコン(非ネット接続)に保管され、パソコンはパスワードロックをかけ外部から容易にアクセスできないようにします。すべての研究に関わる情報は外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。

⑥ 研究結果の公表について

研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表される予定です。

その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心ください。

⑦問い合わせ先・相談窓口

聖マリアンナ医科大学病院 部署名：放射線診断・IVR 学講座

住所：〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1

電話：044-977-8111(代表) 内線番号：3442 (80160)

担当医師：宮川 久弥恵

対応時間：8：30-17:00(木曜日不在)

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 聖マリアンナ医科大学 放射線診断・IVR 学講座/聖マリアンナ医科大学病院 放射線診断・IVR 科、横浜市西部病院 放射線科、東横病院 放射線科

研究責任者 富田 隼人 (聖マリアンナ医科大学 放射線診断・IVR 学講座 講師)

【共同研究機関】

共同研究機関はございません。

【研究協力機関】

研究協力機関はございません。

【業務委託先】

業務委託先はございません。